

18日03時頃に金沢付近を通過したうずの前面では、 $-4 \times 10^{-4} \text{sec}^{-1}$  の収束域が存在し、中心の通過時と、その後面での発散収束の変化が明瞭に表現され、次のうず状エコー c (第13図参照) の前面による収束域が05時頃から表われていた。

#### あとがき

うず状エコーの発生、発達に寄与すると考えられる一般場について、いくつかの検討をした。

しかし、例数の点でまだ、この種のエコーが発生する条件を見いだすには、十分でない。

今後も、これらのうず状エコーについて、詳細に吟味することが必要であろう。

それには、新しい手法の発想も重要な点である。

おわりに、指導いただいた立平良三技官(気象庁予報部電子計算室)と、資料収集に協力いただいた、金沢、富山、福井地方気象台と輪島測候所の方々に感謝する。

#### 参考文献

- 深津 林・服部満夫, 1974: 二つの異なる走向を持つ線状エコー群の解析, 研究時報, 26, 219-224.  
宮沢清治, 1975: 日本海に発生する小低気圧について, 天気, 22, 170-174.

- 元木敏博, 1974: 石狩平野で発生した小さなうず状エコーについて, 天気, 21, 15-19.  
七沢 謙, 1975: うず状エコーの構造と発生の条件, 天気, 22, 180-181.  
入田 央, 1974: 高気圧性循環を伴ったうず状エコーの解析, 天気, 21, 208-213.  
岡林俊雄・里見 穂, 1971: レーダと気象衛星による雪雲の研究(1), 天気, 18, 573-581.  
斎藤直輔, 1975: 冬季北日本の低気圧に関するいくつかの問題点, 天気, 22, 167-170.  
Shimizu Uchida, 1974: An Observational study of Organized Snow Echo over the Japan Sea, J. Meteor. Soc. Japan, 52, 289-299.  
佐藤幸夫, 1973: 啓風丸レーダからみた冬季日本海上に発生する点エコー, 天気, 20, 181-184.  
立平良三, 1968: レーダ解析, 7・1 雪エコーの発生・移動, 北陸豪雪調査報告, 320-328.  
立平良三, 1972: 気象レーダ特集号第Ⅱ部・気象レーダの利用, § 4, 1 帯状エコーの形態, 気象研究ノート, 112号, 336-338.  
滝野一郎, 1974: メソ擾乱の解析例, メソ気象, 気象研究ノート, 120号, 479-488.  
山口勝輔・孫野長治, 1974: 冬期日本海上におけるメソスケール前線上の渦状擾乱について, 天気, 21, 25-28.

## 編集後記

○ かなりの量の広告が掲載された4月号を手にされて、各自それぞれに、いろんな受けとりかたをされたことと思います。

広告にはさまれて本文のかげがうすくなったとか、逆に、かたい論文を読んでいるときに広告に目を通すと息抜きになってよいかか……、あるいは、新しく測器を購入する際にさっそく参考になったという向きもおられたことでしょう。

これを掲載するにいたった理由は、4月号のP.233に述べられているとおりです。

○ このところ、論文・短報などは比較的順調に掲載されています、学会の春の大会も終わったことですので、発表成果をまとめて、本誌にも続々投稿して下さい。

その他、通信欄・会員の広場への投稿もお待ちしています。これらは、即刻掲載する余裕がありますので。

○ 本誌の内容を会員各位のご希望にそうようにし、また、充実を計りたいというのが、編集委員会としてもっとも意を用いているところです。

その一環として、本号で天気の内容についてのアンケートを行うことにしました。要領をよく読んでいただいて、7月31日までに必ずご意見をお寄せ下さい。

回答用のハガキは、料金受取人払いの措置をとってありますが、お近くに天気編集委員または地区編集委員がおられるような場合には、その方にお渡しいただいても結構です。(S)